

第2回

蓄熱建材シンポジウムご案内

蓄熱建材コンソーシアム
pcmconso.jp

建物の高断熱・高気密化が急速に進む中で、蓄熱建材を利用した更なる省エネルギー化と快適性向上に向けた様々な試みが始まっています。

講演者の皆様には省エネルギーのトレンドや、蓄熱建材の効果をテーマにした実物件や実験室での検証状況、評価設計手法についてお話ししていただきます。

今回は大阪での開催となります。ふるってご参加ください。

高断熱・高気密の
その先に、一步進んだ

蓄熱建材

日 時

2017年12月15日（金） 13:30～17:40

場 所

大阪市福島区福島5-4-21 TKPガーデンシティ大阪梅田

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-osaka-umeda/access/>

登録方法

以下のE-mailにメールタイトル『蓄熱建材シンポジウム参加』でお送り下さい。（応募締切：2017年11月30日）

**事前登録制
参加無料**

メール内に会社名、所属、役職、氏名、電話番号、メールアドレスを記載して下さい。複数名のお申込みの場合は代表者以外の各人については氏名、所属、役職を記載下さい。

※ 定員：120名、定員になり次第受付を終了させていただきます。

※ ご記入いただきました情報は適切に管理いたします。

本事業に係る連絡のみに利用し、皆さまのご承諾なく第三者に開示・提供はいたしません。

E-mail : yokoyama.masahiro.ms@m-chemical.co.jp

内 容

●開会挨拶（13:30～13:40）

蓄熱建材コンソーシアム

代表理事 清田 健

◆講演（13:45～14:15）

「家庭部門の省エネルギー政策の動向」

経済産業省 資源エネルギー庁

省エネルギー課

課長補佐 濱中 郁生

◆講演（14:20～14:50）

「建築物省エネ法における暖冷房負荷
の評価方法と今後の方向性について」

国立研究開発法人 建築研究所

主任研究員 三浦 尚志

◆講演（14:55～15:25）

「住宅における自然エネルギーと蓄熱
の活用事例」

OMソーラー株式会社 技術部

取締役技術部長 盧 炫佑

◆講演（15:40～16:10）

「蓄熱建材の評価手法および設計ツールの開発」

東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻

准教授 前 真之

◆講演（16:15～16:35）

「蓄熱建材の評価標準化に向けた『見かけ比熱
測定法』の開発」

一般財団法人建材試験センター中央試験所

統括リーダー代理 佐伯 智寛

◆講演（16:40～17:00）

「蓄熱建材の有効性を表現できる設計ツールの
開発」

蓄熱建材コンソーシアム

理事 佐藤 友紀

●質疑応答（17:00～17:20）

●ご講評（17:20～17:30）

●閉会挨拶（17:30～17:35）

蓄熱建材コンソーシアム

副代表理事 野末 佳伸

※講演テーマおよび講演者は、都合により変更となる場合がございます。

※シンポジウムの様子を撮影した写真を広告のためサイト等に掲載することがあります。もし、撮影および掲載を希望されない場合はシンポジウム当日に受付にお申し出いただけるようお願いいたします。ご来場者の写真撮影は禁止です。

＜お問い合わせ＞

・蓄熱建材コンソーシアム

URL : <https://pcmconso.jp/>

普及広報WG 担当：横山 050-3171-1426（直通）

【会場アクセス】

TKPガーデンシティ大阪梅田

〒553-0003

大阪府大阪市福島区福島5-4-21 TKPゲートタワービル

J R大阪環状線 大阪駅 桜橋口から 徒歩8分

J R大阪環状線 福島駅 改札口から 徒歩3分

市営地下鉄御堂筋線 梅田駅 中央改札8番出口から 徒歩13分

市営地下鉄四つ橋線 西梅田駅 地下街6-2番出口から 徒歩2分

阪神本線 福島駅 改札出口 徒歩4分

J R東西線 新福島駅 1号出入口 徒歩5分

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-osaka-umeda/access/>

